



2025年11月13日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西元 丈夫  
(コード番号 1491 東証スタンダード市場)  
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲  
(TEL. 03-3201-1541)

2026年3月期第2四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異  
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日～2025年9月30日)

|                                   | 売上高     | 営業利益 | 経常利益  | 親会社株主に帰属<br>する中間純利益 | 1株当たり<br>中間純利益 |
|-----------------------------------|---------|------|-------|---------------------|----------------|
|                                   | 百万円     | 百万円  | 百万円   | 百万円                 | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)                        | 89,000  | 410  | 320   | 310                 | 21.51          |
| 今回発表実績 (B)                        | 112,748 | 798  | 722   | 718                 | 49.89          |
| 増減額 (B-A)                         | 23,748  | 388  | 402   | 408                 |                |
| 増減率 (%)                           | 26.7    | 94.6 | 125.6 | 131.6               |                |
| (ご参考)前期第2四半期実績<br>(2025年3月期第2四半期) | 71,351  | 676  | 624   | 811                 | 56.29          |

2. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

|                         | 売上高     | 営業利益  | 経常利益  | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|---------|-------|-------|---------------------|----------------|
|                         | 百万円     | 百万円   | 百万円   | 百万円                 | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)              | 181,000 | 990   | 800   | 790                 | 54.82          |
| 今回修正予想 (B)              | 236,000 | 1,600 | 1,400 | 940                 | 65.23          |
| 増減額 (B-A)               | 55,000  | 610   | 600   | 150                 |                |
| 増減率 (%)                 | 30.4    | 61.6  | 75.0  | 19.0                |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2025年3月期) | 162,345 | 1,417 | 1,238 | 1,218               | 84.57          |

### 3. 差異及び修正の理由

当第2四半期（中間期）の業績につきましては、貴金属事業において、金相場が上昇基調で推移し、リサイクル原料の集荷量が堅調であったことや工場稼働率も高水準で稼働出来たことから、前回発表の予想を大幅に上回り、売上高が237億48百万円、営業利益が3億88百万円、経常利益が4億2百万円、親会社株主に帰属する中間純利益が4億8百万円それぞれ前回発表の予想から増加いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、米国の通商政策や利下げ観測、地政学リスク等を背景に、金価格が引き続き高値圏で推移するものと見込まれます。これにより金地金等の取引高が前回発表の予想より増加すると見込まれることから、記載のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

なお、上記修正に照らし、当期中に繰越欠損金の解消が見込まれることから、当期末の繰延税金資産が当初予想よりも減少すると見込まれます。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益が、前回発表の予想を上回るものの、増減額及び増減率においてその影響を受ける見込みであります。

今後、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

（注）上記の業績予想につきましては、本資料の発表時において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なることがあります。

以上